

## 勤務環境改善

### 京都府医療勤務環境改善支援セミナー ワークショップ (第1回)

京都府医療勤務環境改善支援センターでは、平成27年度より医療機関に勤務環境改善に向けた積極的取組を推進するべく、医療機関における人材確保・定着の取組の一環として、病院理事長・院長・事務長・看護部長などの経営・労務の管理者及び人事・労務担当者等を対象として、ワークショップを開催しています。

今年度、第1回目を平成29年10月18日(火)14時より、キャンパスプラザ京都において、講師に、奥村元子氏(公益社団法人日本看護協会労働政策部看護労働・確保対策担当専門職)をお招きし、「看護要員・夜間勤務管理と看護職の負担軽減について」をテーマに、66名の参加者を得て行いました。



奥村元子氏

病棟看護配置基準の理解として、人員の計算方法等について具体例を交え、病棟勤務時間数では様々なケースにおける計上のポイント、解雇についてご説明いただきました。また、平成28年度の診療報酬で改定された、「平均夜勤時間数72時間要件」について、理解と運用のポイントをQ&Aを用いて解説され、グループワークでは実際に入院基本料に係る病棟看護配置の試算をグループごとに行いました。

受講後のアンケート結果では、「具体例があ

り、大変分かりやすかった」「疑問が解決につながった」との意見があり、大変有意義な研修会となりました。

当日の講師資料は、看護職員配置の計算方法等、大変分かりやすい資料となっています。資料提供をご希望の方は事務局までご連絡下さい。

(事務局)